


教材事例書式

教材教具名 ドーナツ屋セット	教科（生活単元学習）	情報提供者（ 小学部4年生 ）
教材教具写真		
		
A ドーナツ模型	B スケジュール表	C 約束カード
教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等		
<p>1 ねらい ○買い物ごっこを通して買い物をする際の手順やマナーについての定着を図る。 ○校外学習に向けて、当日の見通しをもたせる。</p> <p>2 発達段階など ○ 絵や写真での認知があり、繰り返し練習したりスケジュールを提示したりすることで落ち着いて活動できる。</p> <p>3 使い方</p> <p>①【ドーナツ屋さんごっこ】 ○ Aドーナツ模型や、本物の硬貨、トレーと tong など本物に近い状況で買い物ごっこを行う。 ○ C約束カードや手順カードを全体に提示するとともに、個々の手元にもミニバージョンを用意し、実態に合わせて確認しながら活動できるようにする。</p> <p>②【校外学習に向けての計画】 ○ 所々空欄のあるBスケジュール表を用意し、当日の流れを確認しながら場所のシールを貼る。 ○ 全体提示用と個別用を用意する。見本を見ながら貼る場所を確認し、貼れるようにする。</p> <p>③【校外学習】 ○ 計画時にそれぞれが作ったBスケジュール表、C約束カード・手順カードのミニバージョン、メニュー表などを持って校外学習に行く。 ○ 次の活動の前にスケジュールや手順の確認をするなど、必要に応じて使用する。</p> <p>④【振り返り～校外学習2回目】 ○ 校外学習の振り返りを行い、次回の校外学習に向けて約束カードの中から自身のめあてを決め、Bスケジュール表の「がんばること」の欄にそのシールを貼る。 ○ 「がんばること」欄にシールを貼ったBスケジュール表を持って校外学習に行く。</p>		
児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）		
<p>本物に似せた教材を使用することで、児童の興味関心を引きつけることができた。</p> <p>実際に校外学習に行くまでに繰り返し買い物ごっこに取り組むことで、校外学習当日に落ち着いて活動に参加したり、少ない支援で買い物をしたりすることができていた。</p> <p>買い物の順番を待つ間などにスケジュール表、メニュー表、手順表、約束カード等を見ることで、次の活動の見通しをもったり、活動を期待して待ったりすることができた。</p>		

